



FPolicyポリシーの設定を計画する

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FPolicyポリシーの設定を計画する	1
FPolicyポリシーの設定の概要を計画する	1
FPolicyポリシーで標準のエンジンを使用する場合のFPolicyスコープ設定の要件	7
FPolicyポリシーワークシートに記入する	7

FPolicyポリシーの設定を計画する

FPolicyポリシーの設定の概要を計画する

FPolicyポリシーを設定する前に、ポリシーの作成時に必要なパラメータと、特定のオプションパラメータを設定する理由を理解しておく必要があります。この情報は、各パラメータに設定する値を決定するのに役立ちます。

FPolicyポリシーを作成するときは、このポリシーを次のように関連付けます。

- Storage Virtual Machine (SVM)
- 1つ以上のFPolicyイベント
- FPolicy外部エンジン

いくつかのオプションのポリシー設定を構成することもできます。

FPolicyポリシーの設定内容

FPolicyポリシーの必須パラメータとオプションパラメータを次に示します。これは、設定を計画するのに役立ちます。

情報の種類	オプション	必須	デフォルト
SVM 名 _ FPolicyポリシーを作成するSVMの名前を指定します。	-vserver vserver_name	○	なし

<p><u>_ ポリシー名 _</u></p> <p>FPolicyポリシーの名前を指定します。</p> <p>名前の最大文字数は256文字です。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>MetroClusterまたはSVMデ ィザスタリカバリ設定でポ リシーを設定する場合、こ の名前は最大200文字にす る必要があります。</p> </div> <p>名前には、次のASCII文字の任意の組み合 わせを含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • a`から `z • A`から `Z • 0`から `9 • “_”、“.”、“-”, and “ ” 	<p>-policy-name policy_name</p>	<p>○</p>	<p>なし</p>
<p><u>_ イベント名 _</u></p> <p>FPolicyポリシーに関連付けるイベントを カンマで区切って指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1つのポリシーに複数のイベントを関 連付けることができます。 • イベントはプロトコルに固有です。 • 1つのポリシーで複数のプロトコルの ファイル アクセス イベントを監視す るには、ポリシーで監視する各プロト コルのイベントを作成し、それらのイ ベントをポリシーに関連付けます。 • 既存のイベントを指定する必要があり ます。 	<p>-events `event_name`はい。</p>	<p>○</p>	<p>なし</p>
<p>永続ストア</p> <p>ONTAP 9.14.1以降では、このパラメータ は、SVM内の非同期（必須ではない）ポ リシーのファイルアクセスイベントをキャ プチャする永続ストアを指定します。</p>	<p>-persistent -store persistent_stor e_name</p>	<p>いいえ</p>	<p>なし</p>

<p><u>_ 外部エンジン名 _</u></p> <p>FPolicyポリシーに関連付ける外部エンジンの名前を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部エンジンには、ノードからFPolicyサーバに通知を送信するために必要な情報が格納されています。 単純なファイルブロッキングを行うためにONTAPの標準の外部エンジンを使用したり、より高度なファイルブロッキングとファイル管理を行うために外部FPolicyサーバ（FPolicyサーバ）を使用するように設定された外部エンジンを使用したりするようにFPolicyを設定できます。 標準の外部エンジンを使用する場合は、このパラメータの値を指定しないか、値としてを指定できます native。 FPolicyサーバを使用する場合は、外部エンジンの設定がすでに存在している必要があります。 	<p>-engine engine_name</p>	<p>○（ポリシーで内部のONTAP標準エンジンを使用しない場合）</p>	<p>native</p>
<p><u>_ は必須のスクリーニングです _</u></p> <p>必須のファイルアクセススクリーニングを要求するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この必須スクリーニング設定は、プライマリサーバとセカンダリサーバがすべて停止した場合や、指定した時間内にFPolicyサーバからの応答を得られない場合に、ファイルアクセスイベントをどのように処理するかを決定します。 に設定する `true` と、ファイルアクセスイベントが拒否されます。 に設定する `false` と、ファイルアクセスイベントが許可されます。 	<p>-is-mandatory {true</p>	<p>false}</p>	<p>いいえ</p>

<p>true</p>	<p>権限付きアクセスを許可する _</p> <p>権限付きデータ接続を使用した監視対象のファイルやフォルダに対する権限付きアクセスをFPolicyサーバに許可するかどうかを指定します。</p> <p>設定されている場合、FPolicyサーバは権限付きデータ接続を使用して、監視対象データが格納されているSVMのルートにあるファイルにアクセスできます。</p> <p>権限付きデータアクセスの場合は、クラスタでSMBのライセンスが有効になっている必要があります。FPolicyサーバへの接続に使用されるすべてのデータLIFが、許可されているプロトコルの1つとして設定されている必要があります。`cifs` ます。</p> <p>ポリシーで権限付きアクセスを許可する場合は、FPolicyサーバで権限付きアクセスに使用するアカウントのユーザ名も指定する必要があります。</p>	<p>-allow -privileged -access{yes</p>	<p>no}</p>
-------------	---	---	------------

<p>× (パススルーリードが有効になっていない場合)</p>	<p>no</p>	<p><u>特権ユーザ名</u></p> <p>FPolicyサーバが権限付きデータアクセスに使用するアカウントのユーザ名を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このパラメータの値は、「ドメイン\ユーザ名」の形式にする必要があります。 がに設定されてno`いる場合`-allow-privileged-access、このパラメータに設定されている値は無視されます。 	<p>-privileged -user-name user_name</p>
---------------------------------	-----------	---	---

<p>× (権限付きアクセスが有効になっていない場合)</p>	<p>なし</p>	<p><code>_allow passthrough-read _</code></p> <p>FPolicyサーバによってセカンダリストレージ (オフラインファイル) にアーカイブされたファイルに対して、FPolicyサーバがパススルーリードサービスを提供できるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> パススルーリードは、オフラインファイルのデータをプライマリストレージにリストアすることなく読み取る方法です。 <p>パススルーリードでは、読み取り要求に応答する前にファイルをプライマリストレージにリコールする必要がないため、応答レイテンシが短縮されます。さらに、パススルーリードでは、読み取り要求を満たすためだけにリコールされるファイルによってプライマリストレージスペースを消費する必要がなくなるため、ストレージ効率が最適化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効にすると、FPolicyサーバはパススルーリード専用に開かれた別の権限付きデータチャネルを介してファイルのデータを提供します。 	<p><code>-is-passthrough-read-enabled {true</code></p>
---------------------------------	-----------	--	--

FPolicyポリシーで標準のエンジンを使用する場合のFPolicyスコープ設定の要件

ドを設定する場合、権限付きアクセスを許可するようにポリシーを設定する必要があります。

標準のエンジンを使用するように FPolicy ポリシーを設定する場合は、ポリシーで設定される FPolicy スコープの定義方法に関して特定の要件があります。

FPolicy スコープは、FPolicy 環境で指定されたボリュームや共有など、FPolicy ポリシーが適用される範囲の境界を定義します。FPolicy ポリシーが適用されるスコープをさらに制限するためのパラメータが多数あります。これらのパラメータの1つで、`-is-file-extension-check-on-directories-enabled` ディレクトリのファイル拡張子をチェックするかどうかを指定します。デフォルト値は `false`、ディレクトリ上のファイル拡張子はチェックされません。

標準のエンジンを使用する FPolicy ポリシーが共有またはボリュームで有効になっている場合、`-is-file-extension-check-on-directories-enabled` ポリシーのスコープでパラメータが `false` と、ディレクトリへのアクセスが拒否されます。この設定では、ディレクトリのファイル拡張子はチェックされないため、ポリシーのスコープに該当するディレクトリ操作はすべて拒否されます。

標準のエンジンを使用している場合にディレクトリへのアクセスを成功させるには、スコープの作成時に `true` を設定する必要があります `-is-file-extension-check-on-directories-enabled` parameter ます。

このパラメータを `true` と、ディレクトリ操作に対して拡張子のチェックが実行され、アクセスを許可するか拒否するかは、FPolicy スコープ設定に含まれている拡張子または除外されている拡張子に基づいて決定されます。

FPolicyポリシーワークシートに記入する

このワークシートを使用して、FPolicyポリシーの設定プロセス中に必要となる値を記録できます。FPolicyポリシーの設定に各パラメータ設定を含めるかどうかを記録し、含めるパラメータの値を記録しておく必要があります。

情報の種類	含める	自分の価値観
Storage Virtual Machine (SVM) 名	<input type="radio"/>	
ポリシー名	<input type="radio"/>	
イベント名	<input type="radio"/>	
永続的ストア		
外部エンジン名		
スクリーニングを必須にするかどうか		
特権アクセスを許可するかどうか		

特権ユーザの名前		
パススルー リードが有効かどうか		

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。